

～今年も忘年会シーズンがやってきた！～ 「終電を逃した時に利用する手段・場所」ランキング

70.0%の社会人は、仕事の前日は終電を逃さない！
終電を逃した時は、「タクシーで帰る」が最多！
気合いと根性で乗り切る！？35.3%が「翌日の仕事に影響がでた」

忘年会シーズン企画第2弾。同僚や友人との飲み会で時間を気にせず楽しんでしまい、気がついた時には終電がもうない！そんな経験は一度くらいないだろうか？そんな時、タクシーを使って帰ったり、漫画喫茶に泊まったり、そのまま朝まで飲んだりと様々な選択肢があるが、社会人はどのような手段を選ぶのだろうか。

今回、オウチーノ編集部(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、社会人の20～39歳の男女773名を対象に、「終電」に関するアンケート調査を行った。まず、「社会人になってから、飲み会に参加して終電を逃したことはありますか？」という質問をした。結果、「翌日に仕事があってもなくても、終電を逃したことがある」と答えた人が30.0%、「翌日に仕事がなければ、終電を逃したことがある」が16.6%、「どんな時でも終電を逃したことはない」が53.4%だった。次に、「終電を逃した時に利用する手段・場所は何か？」という質問をした。結果、「タクシーで帰る」と答えた人が54.4%で最も多く、次いで「歩いて帰る」が17.5%、「漫画喫茶」が13.9%と続いた。最後に、「翌日に仕事があってもなくても、終電を逃したことがある」と答えた人に、「翌日の仕事に影響はありましたか？」という質問をした。結果、「はい」と答えた人が35.3%、「いいえ」と答えた人が64.7%だった。

■調査概要

有効回答 20～39歳の男女773名(男性386名、女性387名)

調査方法 インターネットによるアンケート調査

調査期間 2015年12月4日(金)～12月7日(月)

1. 70.0%の社会人は、仕事の前日は終電を逃さない！

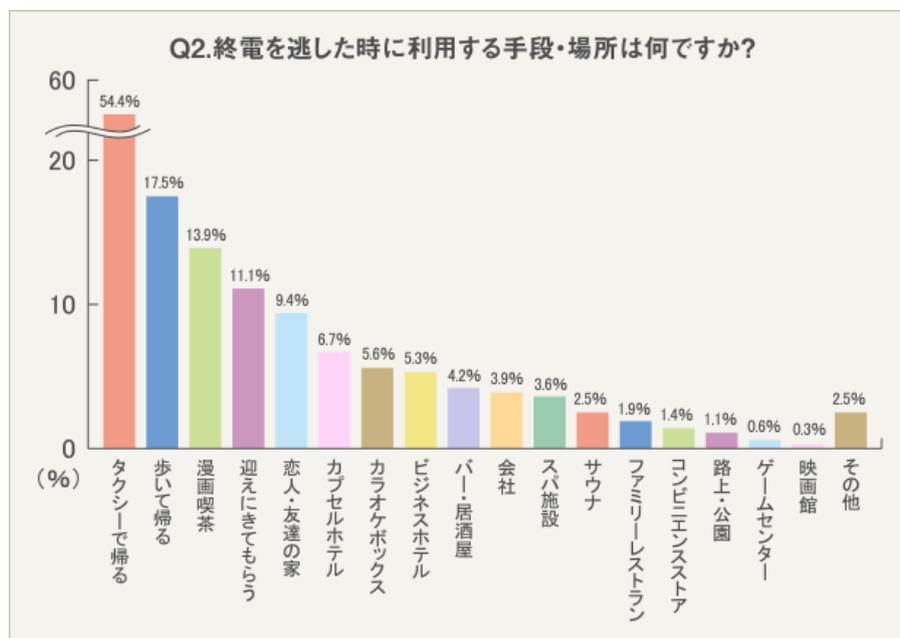


まず、「社会人になってから、飲み会に参加して終電を逃したことはありますか？」という質問をした。結果、「翌日に仕事があってもなくても、終電を逃したことがある」と答えた人が30.0%、「翌日に仕事がなければ、終電を逃したことがある」が16.6%、「どんな時でも終電を逃したことはない」が53.4%だった。やはり社会人になると、次の日を気にして終電で帰る人の方が多いという結果になった。

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■

株式会社 オウチーノ(ブランドマーケティング Div./清水) 〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 コモディオ汐留
<TEL:03(5776)1746 FAX:03(5776)1747 E-MAIL:press@o-uccino.jp>

2. 終電を逃した時は、「タクシーで帰る」が最多！



次に、「終電を逃した時に利用する手段・場所は何ですか？」という質問をした。結果、「タクシーで帰る」と答えた人が54.4%で最も多く、次いで「歩いて帰る」が17.5%、「漫画喫茶」が13.9%と続いた。詳しく事情を聞いたところ、「大人になってくるとタクシーに乗ってでも家に帰りたい」(29歳/男性)、「漫画喫茶が1番安く寝られるから」(25歳/男性)、「オールで飲んで、始発で帰り、すぐ会社に向かった」(23歳/男性)などの声が挙がった。

「タクシーで帰る」、「歩いて帰る」、「迎えにきてもらう」など、何かしらの手段で家に帰るとい人は72.5%にのぼった。やはり家に勝るものはないようだ。

3. 気合いと根性で乗り切る！？35.3%が「翌日の仕事に影響がでた」



最後に、「翌日に仕事があってもなくても、終電を逃したことがある」と答えた人に、「翌日の仕事に影響はありましたか？」という質問をした。結果、「はい」と答えた人が35.3%、「いいえ」と答えた人が64.7%だった。「はい」と答えた人に、具体的にどのようにして乗り切ったか聞いたところ、「お昼休みを使って十分に休息を取った」(34歳/男性)、「朝はエナジードリンクを飲み、日中はタブレットなどを常に口に含んでいた」(27歳/女性)、「事務所で座ったりすると眠気がくるので、なるべく動いたり外へ行った」(26歳/女性)、「フレックスを使用し、遅く出社した」(39歳/男性)など、具体的な対策を取っている人もいれば、「気合い」(25歳/男性)など、気合いと根性で乗り切ったという声も多数挙がった。

終電を逃しても、お金さえあれば自分の家に帰って眠りたいというのが、社会人の本音のようだ。忘年会で1年の締めくくりを楽しむのは良いが、翌日の仕事にまで影響をださないようにご注意を。

オウチーノ de ヨムーノ: <http://www.o-uccino.jp/article/archive/omoshiro/20151218-lasttrain>